

平成21年度 岐阜県高等学校新人バスケットボール大会  
 兼 東海高等学校新人バスケットボール大会県予選会  
 大会第2日:平成22年2月6日(土)  
 会場:岐阜メモリアルセンターで愛ドーム・ふれ愛ドーム

## 男子の部

<審判>

Aブロック 決勝	美濃加茂	124	$\begin{bmatrix} 25 - 12 \\ 36 - 11 \\ 33 - 29 \\ 30 - 13 \end{bmatrix}$	65	岐南工	小森邦弘・川上亮輔
Bブロック 決勝	岐阜総合	75	$\begin{bmatrix} 15 - 9 \\ 21 - 18 \\ 24 - 9 \\ 15 - 22 \end{bmatrix}$	58	高山西	伴幸二・鈴木雅雄
Cブロック 決勝	富田	83	$\begin{bmatrix} 17 - 14 \\ 12 - 14 \\ 26 - 24 \\ 28 - 13 \end{bmatrix}$	65	中津川工	棚橋英一・名越龍男
Dブロック 決勝	岐阜農林	76	$\begin{bmatrix} 13 - 16 \\ 15 - 4 \\ 26 - 9 \\ 22 - 18 \end{bmatrix}$	47	加納	後藤慎二・瀬川雄一郎
5位決定 予備戦	岐南工	84	$\begin{bmatrix} 21 - 25 \\ 22 - 14 \\ 16 - 15 \\ 25 - 25 \end{bmatrix}$	79	高山西	浅野和道・早野宏樹
5位決定 予備戦	中津川工	94	$\begin{bmatrix} 27 - 14 \\ 19 - 14 \\ 26 - 20 \\ 22 - 8 \end{bmatrix}$	56	加納	土本繁・中川雅也
決勝 リーグ	美濃加茂	112	$\begin{bmatrix} 25 - 11 \\ 29 - 17 \\ 33 - 16 \\ 25 - 15 \end{bmatrix}$	59	岐阜総合	室谷伸治・津田健介

決勝リーグ初戦、美濃加茂はオールコートマンツーマン、岐阜総合はハーフコートマンツーマンでスタート。両チームとも立ち上がりは固さがみられたが、美濃加茂は高橋のオフェンスリバウンドからの攻めでリズムをつかみ、斉藤、高橋がシュートをきめていく。対する岐阜総合は、速い切り換えからの攻めで対抗し、浅野、小西が得点を決めるが、相手ディフェンスを崩せない。第1ピリオドは美濃加茂が25-11とリードする。第2ピリオドに入ると美濃加茂高橋、斉藤のジャンプシュート、中村の3点シュートなどで着実に加点する。岐阜総合は1-3-1ゾーンと2-1-2ゾーンにディフェンスを変えてリズムを変え、小西がドライブ、ジャンプシュートと一人活躍を見せるが、なかなか相手ディフェンスを攻めきれない。前半は美濃加茂が54-28でリードを奪う。

後半に入っても、美濃加茂の勢いは止まらない。オールコートマンツーマンプレスからボールを奪うと速攻に走って得点をあげ、ますます点差を広げていく。第4ピリオドも美濃加茂がゲームを支配し、ベンチメンバーに変わっても 打江、松井らが次々と得点をあげ、最後は美濃加茂が112-59で勝利をあげ、決勝リーグ1勝目をあげた。岐阜総合は、浅野、小西を軸に必死の反撃を見せたが、相手の力強いディフェンスを破るまでには至らなかった。(林紗規子)

決勝 リーグ	富田	82	$\begin{bmatrix} 20 & - & 17 \\ 20 & - & 20 \\ 12 & - & 17 \\ 30 & - & 18 \end{bmatrix}$	72	岐阜農林	増田博徳・林 義貴
-----------	----	----	--	----	------	-----------

両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。富田は、山田の連続3点シュート、真里谷のリバウンドからゴール下シュートで得点をあげていく。岐阜農林は第1ピリオド終盤からパスがつながるようになり、田中、今井のドライブインで応戦する。第1ピリオドは富田が20-17とリードする。第2ピリオドに入って、富田は真里谷のゴール下シュート、小椋のドライブインから得点を重ねる。岐阜農林は要所で田中の3点シュート、ドライブインが決まり、追いついていく。前半は富田が40-37とリードして後半を迎える。

第3ピリオドに入って富田は、山田、羽田のミドルで得点をあげる。しかし岐阜農林は途中ディフェンスを1-2-2ゾーンに変え、細川のミドル、丹羽の3点シュートなどで得点を伸ばし、第3ピリオドで岐阜農林が54-52で逆転する。第4ピリオドに入ると、富田は真里谷のリバウンドからの速攻、ゴール下シュート、山田、池上のミドルシュートが決まり、ファールで得たフリースローも着実に決め、82-72で再逆転して決勝リーグ1勝目をあげ地区予選の雪辱を果たした。岐阜農林も永井のドライブイン、小島の3点シュートで必死に追い上げを図ったが、最後は足が止まってしまう追い上げられなかった。(瀬川雄一郎)

## 女子の部

<審判>

Aブロック 決勝	岐阜女子	136	$\begin{bmatrix} 40 & - & 9 \\ 27 & - & 7 \\ 37 & - & 2 \\ 32 & - & 12 \end{bmatrix}$	30	中津商	池戸正至・井口貢志
Bブロック 決勝	長良	90	$\begin{bmatrix} 21 & - & 17 \\ 22 & - & 17 \\ 19 & - & 8 \\ 28 & - & 14 \end{bmatrix}$	56	可児	下村勝彦・石川光徳
Cブロック 決勝	県岐阜商	98	$\begin{bmatrix} 18 & - & 15 \\ 22 & - & 6 \\ 30 & - & 11 \\ 28 & - & 6 \end{bmatrix}$	38	土岐商	高橋英彦・岩永英夫
Dブロック 決勝	高山西	75	$\begin{bmatrix} 15 & - & 13 \\ 17 & - & 17 \\ 27 & - & 15 \\ 16 & - & 14 \end{bmatrix}$	59	岐阜総合	長屋 貴・森久美子

5位決定 予備戦	可 児	99	$\begin{bmatrix} 23 & - & 23 \\ 27 & - & 12 \\ 20 & - & 14 \\ 29 & - & 26 \end{bmatrix}$	75	中津商	小池匡弥・堀口和人
-------------	-----	----	--	----	-----	-----------

5位決定 予備戦	土岐商	71	$\begin{bmatrix} 15 & - & 15 \\ 26 & - & 13 \\ 14 & - & 16 \\ 16 & - & 21 \end{bmatrix}$	65	岐阜総合	田中昭博・宮崎泰彦
-------------	-----	----	--	----	------	-----------

決勝 リーグ	岐阜女子	98	$\begin{bmatrix} 37 & - & 1 \\ 27 & - & 12 \\ 15 & - & 14 \\ 19 & - & 12 \end{bmatrix}$	39	長 良	古山雅彦・市川 学
-----------	------	----	---	----	-----	-----------

両チームともマンツーマンディフェンスでスタートする。岐阜女子は足を使った粘り強いディフェンスで相手のミスを誘い、東方のリードから、松原の3点シュート、杉浦のインサイドシュート、鐘ヶ江のインサイドプレーなどで次々に得点をあげていく。対する長良は中島を起点に、服部のインサイドにボールを集めるが、相手ディフェンスを崩すことができず、思うように得点があげられない。前半で岐阜女子が64-13と大量リードを奪い、試合を決定づける。

第3ピリオドに入って、岐阜女子は控えの選手でスタートするが、前半と同様に激しいディフェンスから梶川の3点シュート、松島、野原のシュートで得点をあげていく。長良も気迫あふれるディフェンスから中島のドライブ、廣瀬のシュート、今尾の3点シュートで得点をあげ、必死についていく。第4ピリオドに入っても岐阜女子はディフェンスのプレッシャーを緩めず、梶川の3点シュート、森のジャンプシュートで得点を伸ばし、最後は岐阜女子が、98-39で前半の大量リードを守り、決勝リーグ1勝目をあげ、連覇に向け一歩を踏み出した。長良も最後まで諦めず、粘り強いディフェンスでよく頑張ったが、追い上げるまでには至らなかった。(鈴木雅雄)

決勝 リーグ	県岐阜商	69	$\begin{bmatrix} 14 & - & 14 \\ 18 & - & 12 \\ 11 & - & 10 \\ 26 & - & 17 \end{bmatrix}$	53	高山西	古田 怜・廣瀬卓哉
-----------	------	----	--	----	-----	-----------

互いにハーフコートマンツーマンでスタートする。県岐阜商は出だし相手ディフェンスを攻めきれずリードを許すが、相手センターがファウルトラブルでベンチに下がってからリズムがよくなり、池田のゴール下シュート、松尾のジャンプシュートで得点をあげる。高山西は片山のジャンプシュート、張のゴール下シュートで得点をあげる。第1ピリオドは14-14と互角の展開となる。

第2ピリオドに入ると、県岐阜商は松尾の3点シュート、ジャンプシュート、池田のゴール下シュートで得点を伸ばし、リードを奪う。高山西も岩畑の3点シュートや張のゴール下シュートで得点をあげるが、趙が4ファウルを犯し、思うように得点をあげられない。前半を終わり、県岐阜商が32-26とリードを奪う。

第3ピリオド県岐阜商は山田の3点シュート、吉野のゴール下シュートで頑張れば、高山西も張の高さを活かしたプレーで踏ん張り、ロースコアながらも競り合ったゲームとなる。第4ピリオドに入ると、県岐阜商はリバウンド、ルーズボールに目覚ましい動きを見せ、池田、山田が次々に得点をあげていく。さらに松尾の3点シュート、土屋のシュートも決まり、最後は県岐阜商が69-53で勝ち、決勝リーグ1勝目をあげた。高山西もオールコート2-2-1ゾーンプレスで積極的にしかけ、筒井、岩畑がよくシュートを決めたが、片山、趙のファウルアウトが響き、追い上げきれなかった。(吉福 司)